

東扇島クリーン大作戦を行いました

平成 26 年 10 月 8 日（水）に東扇島の川崎マリエン周辺道路及び国道 357 号において、企業と行政との協働により、清掃やゴミのポイ捨て防止の啓発横断幕を設置するイベントを昨年度に引き続き開催しました。

当日は、市のほか、国や警察、首都高（株）等民間事業者が参加し、総勢約 293 名で約 2 時間にわたり、清掃や市内小学生が制作したゴミのポイ捨て防止の啓発横断幕を道路沿いのフェンスに掲示しました。

今後は、イベントの成果を検証し、取組の継続を検討していきます。



【清掃前】



【清掃後】



【参加者写真】



【清掃活動の様子】



【ポスター掲示状況】

問い合わせ：総合企画局国際戦略室
建設緑政局広域道路課

TEL 200-3711 FAX 200-3540
TEL 200-2039 FAX 200-3973

大気中の放射線量モニタリング結果（平成 26 年 10 月）

市では、環境総合研究所（川崎区殿町）、中原大気測定局（中原区小杉町）及び麻生大気測定局（麻生区百合丘）で、建物屋上及び当該測定地点の地表面付近の放射線量（ガンマ線）について測定を行っており、9月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 建物屋上（連続測定）・・・約 0.03 ～ 0.04 マイクロシーベルト / 時間で推移（10 月 14 日現在）
- 地表面付近（月 1 回測定）・・・測定結果は次のとおりであり、いずれの地点、高さにおいてもほぼ同じ数値で推移

単位：マイクロシーベルト / 時間

| 地表面からの高さ | 環境総合研究所 (土・草地) | 環境総合研究所 (アスファルト) | 中原大気測定局 (アスファルト) | 麻生大気測定局 (土・草地) |
|----------------|-------------------|---------------------|---------------------|-------------------|
| 100cm・50cm・5cm | 0.04 | 0.04～0.06 | 0.06～0.07 | 0.05～0.06 |

* マイクログレイ / 時間で測定した値をマイクロシーベルト / 時間に換算して表記しています。

* 原子力規制庁によると、「緊急時は、1 グレイ = 1 シーベルト」として換算します。

* 文部科学省によると、一般的な自然界の放射線量レベルの範囲は 0.03 ～ 0.1 マイクロシーベルト / 時間です。
なお、神奈川県が川崎市内 5 か所に設置しているモニタリングポスト（地上約 3m）の平成 21 年度（福島第一原子力発電所の事故以前）の年平均値は 0.023 ～ 0.042 マイクロシーベルト / 時間でした。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000037968.html>

問い合わせ：環境局環境対策課

TEL 200-2516 FAX 200-3922

浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果（平成 26 年 10 月）

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場の敷地境界で空間放射線量（ガンマ線）の測定を行っております。また、埋立処分場の内水等の放射能濃度（放射性セシウム濃度）についても測定を行っており、10 月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 埋立処分場空間放射線量（連続測定）・・・0.050～0.082 マイクロシーベルト / 時間で推移（10 月 14 日現在）
- 埋立処分場の内水等・・・測定結果は次のとおり

単位：ベクレル / L

| | 測定値 | 基準等 | 測定頻度 |
|---------|------------------------|-------------------------|-------|
| 埋立処分場内水 | 2.4～3.0 (検出下限値:1.0) | 国の目安値 75 本市の管理目標値 10 | 週 2 回 |
| 放流水 | 3.1 (検出下限値:1.0) | 国の目安値 75 本市の管理目標値 10 | 放流時 |
| 外海水 | 不検出 (検出下限値:1.0) | | 放流時 |

* 上記掲載の測定値は、9 月 16 日から 10 月 14 日までの期間に測定したものになります。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000045121.html>

問い合わせ：環境局処理計画課

TEL 200-2590 FAX 200-3923